



SPORTS JAPAN PROJECT

スポーツ振興くじ(toto・BIG)の運営・販売元である独立行政法人日本スポーツ振興センターは、その収益によってアスリートの育成や身近な地域のスポーツ活動・施設などに対して多くの助成を行っています。

菊地サッカー・ラグビー場 (高崎市菊地町715)

高崎市郊外にあり、高崎環状線からも近い利便性の高い場所に、2014年4月オープン。大人用サッカー場1面、子ども用サッカー場2面、ラグビー場1面として利用できます。照明設備がありナイターが可能。スポーツ振興くじの助成を受け、人工芝の競技場が実現。快適な環境での技術向上が期待されます。



土のグラウンドよりも積極的なプレーが可能に。



緑色が映る人工芝。維持もしやすい。

★もっと助成活動について知りたい方は

[SPORTS JAPAN PROJECT](#)



上毛新聞社編集局報道本部
運動部記者
佐藤 秀樹(さとうひでき)
ザスパクサツ群馬の担当記者として、
全国を取材で飛び回る。



高崎市文化スポーツ振興財団スポーツ公園
施設部施設1課長兼高崎市浜川体育館長
福島 久忠(ふくしまひさただ)さん
高崎市の浜川体育館をはじめ、スポーツ施設
の管理運営を行う。



ザスパクサツ群馬
乾 大知(いのいだいち)さん
高崎市榛名町出身。桐生第一高、流通経
済大を経て、2012年ザスパ加入。
ポジションはDF。



エフエム群馬報道部チームリーダー
アナウンサー・記者
笹川 裕昭(ささがわひろあき)さん
「ユウガチャ!」(16:00~18:55)で月~水を担当。
ザスパクサツ群馬をはじめ、スポーツの取材多数。



企画・制作／上毛新聞社 東京支社

Love Sports GUNMA

vol.2

群馬県内の助成を受けたス
ポーツクラブや施設を、FMぐんま
パーソナリティ、ザスパクサツ
群馬、施設管理運営者の3つの
視点から紹介します。

スポーツは育てることができる!

■市内唯一、人工芝の サッカー場が誕生

佐藤 菊地サッカー・ラグビー場はどのように利用が多いですか。

福島 少年サッカーや中学、高校の部活動に加え、高校生以下による大会が中心です。元々は土のグラウンドでの整備が決まっていましたが、totoの助成が受けられることとなり、人工芝での競技場としてオープンさせることができました。市内のサッカー場は烏川河川敷周辺にもありますが、人工芝の競技場はここだけですから、利用者には好評です。

笹川 年間を通して足下を気にせず、思う存分サッカーを楽しめる場所は高崎ではここだけというわけですね。

福島 水はけが良いので、多少の雨でも問題なく利用できるのが良い点です。

■朝練からナイターまで。 地域のサッカーレベル向上に貢献

佐藤 利用する側として、人工芝のサッカー場はいかがですか。

乾 人工芝はとてもプレーしやすいですよ。自分が小学生のころは、土のグラウンドがほとんど。でこぼこが多くてミスしやすい。小学生からこういう場所でプレーできれば技術向上にもつながります。

福島 実際、人工芝が上達につながっているという声は多くいただいています。

佐藤 照明設備がありますが、ナイターもできるのですか。

福島 朝6時から夜9時まで利用できます。平日の夕方以降、子どもから大人まで多くの利用で稼働率はほぼ100%。時には朝練も行われています。昨年はザスパの選手による練習にも多く使われ、周辺に住む方からは「間近に選手を見られた」と喜ばれました。

笹川 高崎市は「文化の街」のイメージでしたが、最近はスポーツ施設も充実。プレー環境が良好なら選手も気分良く、笑顔で取材に応じてくれますね。

福島 totoのおかげで、本当に環境は充実したと思います。

笹川 第二の乾選手の誕生も近いですね。

乾 最近のサッカー教室では、びっくりするくらい上手な子どもが増えてきました。人工芝で練習できれば、もっと上を目指す選手が出てきますよ。

